



# 科学の眼

まなこ

発行: 姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話: 079-267-3961)  
<http://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

## 生物シリーズ

生息範囲を拡げているチョウ

### ツマグロヒョウモン

*Argyreus hyperbius*

姫路科学館 学芸・普及担当 小林将人

初夏になり、姫路市蝶のジャコウアゲハなど様々なチョウが飛び交う時期となりました。今回は、子孫を残すためにいろいろな工夫をしているチョウ「ツマグロヒョウモン」を紹介します。

#### ■ツマグロヒョウモンってどんな虫？

ツマグロヒョウモンはチョウ目タテハチョウ科ドクチョウ亜科ヒョウモンチョウ族に属するチョウです。ツマグロヒョウモンは、オスとメスで翅の模様が明らかに違います(写真1)。メスは前翅の先端部が黒色で斜めに白帯を持つのが特徴です。メスが黒いのでツマグロヒョウモンの「ツマグロ」は「妻黒」と思われるかもしれませんが、「妻」ではなく「褌」の字を使います。「褌」は着物などの端の意味です。オスもメスも後翅の端が黒いという意味で「褌黒」、これに豹の模様を足して、「褌黒豹紋」と書きます。また、メスは有毒のチョウ



写真1 ツマグロヒョウモンのオスとメス

「カバマダラ」(写真2)に擬態しているとされ、優雅に飛ぶ様子も擬態しています。



写真2 カバマダラ

#### ■ツマグロヒョウモンの幼虫

幼虫は、スマレの仲間を食草としています。野生のスマレだけでなく園芸種のパンジーやビオラなども食べるので、花壇などで見かけることも多くあります。

